

令和 8 年度

当初

工事名 (R8下甲-3)配水管布設替工事(R8C-2)(余フ)

工事場所 甲府市西下条町地内(二川橋の西)

工期

部署 水道課 水道整備係

設計書番号 260612003

款	01	41 資本的支出	節	01	020 工事請負費			課長	係長	審査	審査	設計
項	01	01 建設改良費	細	17	013 下水道甲府							
目	01	01 施設費										

当 初

設計金額

工事価格

消費税相当額

支給品費

起工(変更)理由

本工事は、甲府市西下条町地内（二川橋の西）において、下水道課発注の下水道管布設工事（R8C-2）（余フ）に伴い、配水管の布設替工事を行うものである。

工 事 概 要

HPPE           φ 100 L=88.0m  
RRVP           φ 75 L= 2.5m  
仕切弁. PE     φ 100 2基  
消火栓         φ 75 1基  
水抜栓         φ 25 2基

当 初

適用単価（世代）

工種区分

施工地域（地域補正）

施工時期（冬期補正）

前払金支出割合

契約保証の方法

前払い率

# 仕 様 書

甲府市令和5年度版『土木工事共通仕様書』及びこれに基づく山梨県土木整備部監修『建設工事必携』によること。また、これに特に定めのない事項については、日本水道協会発行「水道工事標準仕様書」によるものとする。

なお、契約締結後、請負者は『工事に関する注意事項』(水道課水道工事担当発行)の記載内容を十分精査検討し、1部を監督員へ提出すること。

契約工期には、ガス管等の移設・臨給工事等の工期も含まれており、工程計画を綿密に立て工期内完成を厳守すること。また、工事中途において諸問題が発生したときは、早期に監督員と協議し指示を受けること。

## 土木工事写真管理基準に関する特記仕様

1. 本工事において、土木工事共通仕様書、水道工事標準仕様書及び工事に関する注意事項に基づき写真管理を行うこととするが、工事写真の納品方法については、甲府市建設工事写真電子納品要領によるものとする。
2. これに定めなきことは、受発注者との協議により決定する。

## 竣工図電子データに関する特記仕様

1. 竣工図電子データについては、A2サイズ(モノクロスキャン)で解像度400DPIのTIF形式で保存し、電子媒体(CD-R)にて提出すること。なお、電子媒体に対しては、最新データに更新したウイルス対策ソフトにて、必ずウイルスチェックを行うこと。
2. 電子媒体には以下の情報を明記すること。  
① 工事名称② 工事場所③ 契約番号④ 発注者担当部署名称⑤ 請負者名称⑥ 何枚目/総枚数  
⑦ ウィルスチェックに関する情報⑧ CD-Rフォーマット形式⑨ 直接署名又は捺印(電子媒体の内容の原本性を証明するため)

## 協議及び承諾に関する特記仕様

1. 設計内容に係る物はもちろん協議打合せに関する事項は、すべて〔工事打合簿〕によりその都度処理するものとし、了解・承諾のある前に施工した場合は、請負者の責任により行うこと。

## 施工上の注意に関する特記仕様

1. 本工事において、土木工事共通仕様書による工事測量に基づき起工測量を行い、その結果を監督員に提出するとともに現地の状況を十分把握し安全性、施工性、細部構造等の検討を行い、請負者の責任において施工するものとする。
2. 請負者は、工事着工前には周辺の地権者・耕作者・役員等と立ち会い、施工方法・施工時期等を説明しトラブルの無いよう施工を行うこととする。
3. 公共基準点の付近で工事を施工する場合又は、公共基準点を撤去及び移転する場合においては、「甲府市公共基準点管理保全要綱」に基づく必要な申請図書を作成し監督員に提出すること。

## 段階確認等に関する特記仕様

段階確認にあたり、請負者は土木工事共通仕様書及び水道工事標準仕様書によるほか、次のものとする。

1. 段階確認の施工計画作成  
段階確認事項を確認、整理し、段階確認予定時期を記した段階確認工程表を作成する。なお、監督員の指示により施工計画書に含めて提出しなければならない。
2. 社内検査の実施  
段階確認を受ける前には必ず社内検査を実施し、設計図書どおりの施工がなされているか事前確認すること。また、検査結果を整理し、監督員から請求があった場合は提出しなければならない。
3. 水圧検査
  - ① 配管終了後の水密性を確認するため、原則として管内に充水し、管路の水圧試験を行う。  
なお、水圧試験の方法については、監督員の指示による。
  - ② 試験水圧は0.735MPa以上で60分間保持し、自記録計のチャート紙に記録し、同芯円になっていることが確認された時、合格とする。  
ただし、水道配水用ポリエチレン管は、次の手順による試験方法を適用できるものとする。

※水道配水用ポリエチレン管の水圧試験手順

- 1 充水(エア抜きを行なう)
- 2 加圧(初期設定圧力:0.735MPaまで加圧し、5分間昇圧を繰り返し、初期設定圧力を保持する)
- 3 初期設定圧力:0.735MPa保持後、圧力を観察する。
  - 観測圧力:0.60MPa以上で、圧力降下が見られない場合。  
→60分間保持し、自記録計のチャート紙に記録する。
  - 観測圧力:0.60MPa以上あるが、圧力降下が見られる場合。  
→圧力観察を継続し、圧力が0.60MPa以上で降下が見られなくなった時、60分間保持し、自記録計のチャート紙に記録する。  
→圧力観察を継続し、圧力が0.60MPa以上で降下が見られる時、24時間経過若しくは圧力が0.60MPa未満となった場合は、手順2へ戻り繰り返し同様の作業を行なう。

※水道配水用ポリエチレン管の水圧試験合格判定

- 手順3にて、試験圧力が0.60MPa以上で、チャート紙への記録が、同心円になれば合格とする。
- 手順3にて、降下圧力が0.30MPa未満となった場合は、漏水と判断し不合格とする。

## 工事カルテに関する特記仕様

受注者は、工事実績情報サービス(CORINS)入力システム((財)日本建設情報総合センター)に基づき、受注・変更・完成・訂正時に工事実績情報として「登録のための確認お願い」を作成し監督員の確認(機関印または監督員の記名・押印及び電子メールアドレスを記入)を受けたうえ、(財)日本建設情報総合センターに登録申請するとともに、「登録内容確認書」の写しを監督員に提出しなければならない。提出の期限は、以下のとおりとする。

- ① 受注時登録データの提出期限は、契約締結後10日以内(土・日曜日及び祝日等を除く)とする。
- ② 完成時登録データの提出期限は、業務完成後10日以内とする。
- ③ 業務履行中に、受注時登録データの内容のうち、「工期」または「現場代理人」または「監理・主任技術者」に変更があった場合は、変更があった日から10日以内(土・日曜日及び祝日等を除く)に変更データを登録申請しなければならない。工事請負代金のみ変更の場合は、原則として登録を必要としない。ただし、工事請負代金2,500万円を超えて変更する場合には変更時登録を行うものとする。
- ④ 訂正時は、適宜登録機関に登録申請をしなければならない。

## 高度技術・創意工夫・社会性等実施状況に関する特記仕様

請負者は工事施工において、自ら立案実施した創意工夫や技術力に関する項目、または地域社会への貢献として評価できる項目に関する事項について、所定の様式により提出することができる。また、実施前には計画書を監督員に提出し確認を受けること。

## 「保険の付保及び事故の補償」に関する特記仕様

1. 請負者は、工事現場または事業場内に「建設業退職金共済制度適用事業主工事現場」の標識を掲示しなければならない。
2. 請負者は、工事契約締結後1ヶ月以内に建退共制度の発注者用掛金収納書を提出すること。ただし、工事契約締結当初は工場製作の段階であるため建退共制度の対象労働者を雇用しないこと等の理由により、期限内に発注者用掛金収納書を提出できない事情がある場合においては、あらかじめ監督員に申し出ること。
3. 請負者は、工事の施設上必要な土・立木・施設等を撤去または損傷を与えた場合には、原形同等以上に復元しなければならない。

## 「法定外の労災保険の付保」に関する特記仕様

本工事において、請負者は法定外の労災保険に付さなければならない。

## 建設副産物処理に関する特記仕様

1. 建設廃棄物の適正処理  
建設工事の施工により発生するコンクリート塊、アスファルト塊等は、廃棄物処理法に基づき当該廃棄物の処分業の許可を取得している再資源化施設で適正に処理すること。また、再生資源利用計画(実施)書及び再生資源利用促進計画(実施)書の提出するとともに、法令等に基づき、再生資源利用計画を工事現場の公衆が見やすい場所に掲げること。  
舗装版切断時に発生する濁水は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき、原則として収集し処分業の許可を取得している中間処理施設等へ運搬し処分するものとする。また、産業廃棄物管理表(マニフェスト)により適正に処理し、監督員に提示するものとする。  
現場条件等により濁水の収集が困難な場合は、監督員と協議するものとする。
2. 建設廃棄物の処理方法  
中間処理許可業者への委託処理
3. 建設廃棄物の運搬距離(参考)  
アスファルト塊・コンクリート塊 1.2km、舗装版切断濁水 6.1 km
4. その他  
① 工事請負後、速やかに施工計画書を監督員に提出し、承諾を得ること。  
② 中間処理業者に委託する段階で、泥、ゴミ、木片、金属類等を混入させないこと。  
③ 受け入れ数量及び、中間処理業者が明記された受領書を委託時に受け取り、監督員の求めに応じて提示すること。  
④ 地中部分の構造物について設計図書と異なる場合は、監督員と協議すること。  
⑤ この特記仕様書に明記されていない場合は、監督員の指示に従うこと。  
⑥ この特記仕様書によりがたい場合または、疑問を生じた場合は、監督員と協議すること。
5. 再生資源利用計画(実施)書及び再生資源利用促進計画(実施)書の提出  
本工事は、建設副産物実施調査の対象工事であり、請負者は国土交通省のホームページから「建設リサイクル報告様式(計画書・実施書)(EXCEL 様式)」の最新バージョンをダウンロードし、作成出力した再生資源利用計画書及び再生資源利用促進計画書を出力し、1部(紙)を施工計画書に添付し監督員に提出するものとする。(以前より使用していたクラスを使用した様式での提出はH30センサスに対応していないため不可)  
工事完了後は速やかに、当初入力した工事データを実績値に修正した再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書を出力し、1部(紙)を完成書類に添付し、また、電子データを電子媒体(CD、DVD、FD等)により監督員に提出するものとする。  
なお、入力した電子データは自社で5年間保管するものとする。  
※入力時の最新版を国土交通省のホームページからダウンロードして入手すること。  
URL [http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/recycle/d03project/d0306/page\\_03060101credas1top.htm](http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/recycle/d03project/d0306/page_03060101credas1top.htm)

## 埋戻しに関する特記仕様

1. 埋戻しに使用する土は、設計図書に指定されたものとし、塵芥その他の有害物は用いないこと。
2. 埋戻し工及び掘削工は、工程に基づき、確実に連携を保ちながら施工すること。
3. 埋戻しは、必ず排水したのちに実施し、水中埋戻しは行わないこと。
4. 埋戻しは、指定された埋戻し用の砂、砕石または良質土を使用し、設計図書で指定しない限り一層20cm以下に敷広げて、管上50cmより十分締固めを行い、沈下が生じないように施工すること。なお、構造物の周辺は特に念入りに締固めを行うこと。
5. 埋戻しの際には管渠、その他の構造物に損傷、管の移動等が生じないように施工すること。
6. 埋戻しを行うに当たっては、地盤に存在する有害な雑物を、その施工に先立って除去すること。
7. 埋戻し後は、復旧までの期間常時埋戻し路面の維持補修に努めること。

## 使用材料等に関する特記仕様

1. 甲府市上下水道局が使用承認した機材を使用すること。
2. 上記以外のもので、現場の形状寸法や構造上やむを得ず使用する場合は甲府市上下水道局の承認を得ること。

## 配管工に関する特記仕様

1. 配管工に従事するものは、当局主催の技術講習会もしくは第三者機関実施の管種・口径に応じた技能講習※1・2を受講し、配管に関する十分な知識・技能を有し、かつ、甲府市上下水道局に配管工として登録されたものであること。

- ※1 耐震継手管・・・(社)日本水道協会主催  
「配水管工技能講習会 I (一般・耐震)」  
「配水管工技能講習会 大口径管(φ500mm以上)」
- ※2 水道配水管ポリエチレン管  
・・・配水管ポリエチレンパイプシステム協会主催  
「水道配水管ポリエチレン管・継ぎ手施工技術講習会」

## 水道配水管ポリエチレン管に関する特記仕様

1. 配管工事の施工者については、着工前にあらかじめ監督員と協議し指示を仰いだ上で、既定の施工手順・接合方法を確認・習得するとともに、注意事項を遵守し、安全かつ適切な施工をすること。
2. 管の取扱いにおいては、特に傷がつかないように注意し、紫外線・火気からの保護対策を講じるとともに、投げ投げたり引きずったりすることは避ける。また、内外面に損傷・劣化が見られる場合は、その部分を切り落として使用すること。
3. 水場・降雨時・降雪時等には、EF(融着)接合を行ってはならない。融着接合中のEF接合部では水が付着することを厳禁とする。但し、やむを得ない場合は、監督員の了承を得て、水替え・雨除け等の必要な措置を講じ、接合部の水付着を防止すること。
4. コントローラは共用コントローラとする。また、使用する発電機は、交流100Vで必要な電源容量(概ね2KVA)が確保されたものをコントローラ専用として使用すること。
5. 管の保管は、屋内保管を原則とし、出荷時の荷姿のまま保管すること。現場で屋外保管する場合は、シート等で直射日光を避けるとともに熱気がこもらないように風通しにも配慮すること。
6. 管の保管は、平坦な場所を選び、まくら木を約1m間隔で敷き、不陸が生じないように横積みし、井桁積みはしないこと。
7. 継手の保管についても、屋内保管を原則とし、現場で屋外保管する場合は出荷時の荷姿(ダンボール箱内でのビニル袋による梱包)の状態のままシート等で覆うこと。
8. 管・継手ともに、土砂・洗剤・溶剤・油等が付着する恐れのある場所及び、可燃性のため火気・熱源の傍には置かないこと。
9. トラック等での運搬・積み降ろしの際には、クッション材等で保護し衝撃を与えないこと。
10. 施工については、配水管ポリエチレンパイプシステム協会、水道配水管ポリエチレン管及び管継ぎ手『施工マニュアル』に準じて施工及び管理を行うものとする。
11. メカニカル継手を使用する場合において、配水管ポリエチレン管にインナーコアの挿入が必要な場合は、各メーカーが指定するコアの挿入量・締付方法等に準じて、適切に施工すること。

## 安全管理に関する特記仕様

- 交通管理
 

工事区域内の円滑な道路交通を確保するために、甲府市または山梨県土木部発行「道路工事交通保安施設設置基準」(以下「設置基準」という)に示した安全施設について、工事現場内における標示施設・防護施設の設置及び交通誘導員の配置、並びにこれらの管理の取り扱いを次のとおりとする。ただし、現場の状況により柔軟に対応し、第三者の安全には十分留意すること。
- 一般事項
  - ① 工事を行う場合は、所轄警察署、道路管理者等との協議及び安全施設設置参考図書に基づき必要な道路標識の設置、交通誘導員の配置を行うほか工事の起終点に必要な標示板を設置する。
  - ② 夜間作業または昼夜間作業を行うときは、通行者に工事区間及び通行制限状況が明確に確認できるように必要な措置をとる。
  - ③ 一般車両の侵入を防ぐ必要がある場合は、両面にバリケードを設置し、交通に対する危険の程度に応じて、赤ランプ、標柱等を用いて現場を囲む。
  - ④ 工事現場における標示板及び防護施設は、堅固な構造とし所定の位置に整然と設置し、修繕・塗装・清掃等の維持を常時行うほか、夜間において遠方から確認し得るよう照明または反射装置を施す。
  - ⑤ 「片側交通止め」をして工事を行う場合は、通行を許す部分の路面は、常に良好な状態に維持して交通に支障を与えてはならない。
- 特記事項
  - ① 交通制限の形態  
所轄警察署、道路管理者等との協議による。
  - ② 保安施設の設置時間  
作業時間中は、設置基準により交通誘導員を配置する。  
現場着工前2週間以上前に工事予告板を設置する。  
現場着工時に基準書により、必要な安全施設を設置する。  
工事終了後、現場の後片付け等、交通開放に充分安全な期間まで、保安施設を設置し、現場を管理すること。
  - ③ 夜間作業を休止する時間は、通行者に明確に現場の状況が判別できるよう、十分な照明、保安灯等を配置すること。
  - ④ 休憩時間等、作業を休止する場合も、通行者の安全に充分留意し、必要に応じて、交通誘導員を配置すること。
  - ⑤ 所轄警察署、地域住民、公共交通機関、第三者との協議による安全施設の変更は柔軟に対応し、交通の安全には十分留意すること。
  - ⑥ 施工に先立ち作成する施工計画書または打合簿に本工事内容に応じた保安施設配置図等の具体的な計画を作成し、監督員に提出すること。
- 交通誘導員
 

本工事の施工に際し、現場の安全管理のために下記のとおり交通誘導員による交通誘導警備業務を実施するものとする。なお、⑤の(1)から(8)に掲げる路線で当該業務を行う場合は、1級または2級の交通誘導警備業務検定合格警備員を、場所毎に1人以上配置すること。また、特記仕様書によりがたい場合は、監督員と工事協議書により別途協議することとする。

  - ① 交通誘導員の配置箇所：市道車道部(昼間施工)
  - ② 交通整理の配置人数：市道車道部 昼間施工3人(内交替要員1名)
  - ③ 交通整理の時間帯： 昼間施工:8:00～17:00実働9時間
  - ④ 交通整理の期間： 昼間施工:概ね15日間
  - ⑤ 警備員等の検定に関する規則第2条の規定に基づき、山梨県公安委員会が認定する主要路線は次のとおりである。
 

(1) 国道20号：山梨県の全域	(2) 国道52号：山梨県の全域
(3) 国道137号：山梨県の全域	(4) 国道138号：山梨県の全域
(5) 国道139号：山梨県の全域	(6) 国道140号：山梨県の全域
(7) 国道141号：山梨県の全域	(8) 国道358号：山梨県の全域

## 安全教育・訓練等の実施に関する特記仕様

- 安全教育・訓練等の実施
 

本工事の施工に際し、現場に則した安全教育・訓練等について、工事着手後、原則として作業員全員の参加により月当り半日以上時間を割り当て、下記の項目から実施内容を適宜選択し安全教育・訓練等を実施するものとする。

  - ① 安全活動のビデオなど、視聴覚資料による安全教育
  - ② 本工事内容等の周知徹底
  - ③ 土木工事安全施工技術指針等の周知徹底
  - ④ 本工事現場で予想される事故対策
  - ⑤ その他、安全教育・訓練等として必要な事項
- 安全教育・訓練等に関する計画書の作成
 

施工に先立ち、本工事の内容に応じた安全教育・訓練等の具体的な計画を作成し、施工計画書に添付し監督員に提出するものとする。
- 安全教育・訓練等の実施状況報告
 

安全教育・訓練等の実施状況を写真撮影及び実施状況表、工事日誌等に記録し、工事完成時に竣工書類へ添付し監督員に報告するものとする。なお、工事期間中であっても監督員が実施状況の確認を必要とする場合は、すみやかに中間報告するものとする。

## 建設機械に関する特記仕様

- 排出ガス対策型建設機械の使用
 

本工事において以下に示す建設機械を使用する場合は、「排出ガス対策型建設機械指定要領(平成3年10月8日付建設省経機発第249号 最終改正平成22年3月18日付国総施第291号)」に基づき指定された排出ガス対策型建設機械、又は平成7年度建設技術評価制度公募課題「建設機械の排出ガス浄化装置の開発」における開発目標を満了することが確認された排出ガス浄化装置を装着した建設機械(平成16年9月1日までに装着したものに限る。)を使用するものとする。

ただし、これにより難い場合は、監督員と協議の上設計変更するものとする。

また、排出ガス対策型建設機械あるいは、排出ガス浄化装置を装着した建設機械を使用する場合、指定機械であることを識別するラベルが確認できるように、建設機械を写真撮影し、監督員に提出するものとする。

機 種	備 考
一般工用建設機械 ・バックホウ ・ホイールローダ ・ブルドーザ ・発動発電機(可搬式) ・空気圧縮機(可搬式) ・油圧ユニット(以下に示す基礎工用機械のうち、ベースマシーンとは別に、独立したディーゼルエンジン駆動の油圧ユニットを搭載しているもの〔油圧ハンマ、パイロハンマ、油圧式鋼管圧入・引抜機、油圧式杭圧入・引抜機、アースオーガ、オールケーシング掘削機、リバースサーキュレーションドリル、アースドリル、地下連続壁施工機、全回転型オールケーシング掘削機〕) ・ローラ類(ロードローラ、タイヤローラ、振動ローラ) ・ラフレックスクレーン 油圧伸縮ジブ型	ディーゼルエンジン(エンジン出力7.5kW以上272kW以下)を搭載した建設機械に限る。

- 低騒音型建設機械の使用
 

本工事において、「建設工事に伴う騒音対策技術指針(昭和51年3月2日付建設省経機発第54号、建設大臣官房技術参事官から各地方建設局長あて 最終改定 昭和62年3月30日付建設省経機発第58号)」に基づき、低騒音型建設機械の使用原則を図る場合は、「低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規定」(平成9年7月31日付建設省告示第1536号 最終改定 平成13年4月9日付建設省告示第487号)に基づき指定された低騒音型建設機械を使用するものとする。

ただし、これにより難い場合は、その事由を証明する書類を提出の上、監督員と協議すること。

また、低騒音型建設機械を使用する場合、施工現場において指定機械であることを識別するラベルが確認できるように、建設機械を写真撮影し、監督員に提出するものとする。
- 配管材料等の積み卸し機械
 

水道配管材料等の吊込みを使用する機械の内、φ350mm以下の吊込みについては、クレーン付きトラック(4t積-2.9t吊)に換えて、現場の作業条件に応じた吊り能力を有する「クレーン機能付バックホウ」を使用することができる。

## 建設発生土に関する特記仕様

- 建設発生土の搬出  
本工事の建設発生土は、下記の場所に搬出すること。  
①搬入場所: 北部開発株式会社 甲斐市牛字三石3619番1外33筆、甲斐市牛字入矢木羽3739番1外34筆、甲斐市牛字矢木羽沢3823番外1筆  
②運搬距離: 17km  
③その他: 1. 搬出に際し、発生土について土質試験を行うこと。  
2. 土砂搬入時間は8:30から17:00までとし、日曜祝祭日は操業を行わない。また悪天候により閉鎖する場合がある。  
3. 搬出調書を作成し、監督員に提出しなければならない。  
4. 工事発注後に明らかになったやむをえない事情により、上記の指定により難しい場合は、監督員と協議するものとする。
- 建設発生土の搬出先市町村への情報提供  
請負者は、本工事から建設発生土を当該工事現場の市町村から、他の市町村へ100㎡(地山量)以上搬出する場合は、搬出前に指定様式により搬出先市町村の建設発生土担当窓口にて建設発生土に関する下記の情報を郵送・FAX等で提出しなければならない。  
なお、情報提出後速やかにその写しを監督員に提出しなければならない。  
① 工事件名、工事概要、工事場所  
② 工事発注機関名、工事発注機関監督員名、連絡先  
③ 工事請負業者名、現場代理人名、連絡先  
④ 建設発生土の運搬業者名  
⑤ 建設発生土の受入先名(搬出先事業所名等)、住所  
⑥ 建設発生土の発注場所から受入先までの運搬経路  
⑦ 建設発生土の搬出時期  
⑧ 建設発生土の土質(砂、ローム等)、土量(㎡)

## 下請施工体系図の作成及び提出に関する特記仕様

- 下請施工体系図の作成及び提出  
「甲府市暴力団排除条例の施行に伴う、公共工事からの暴力団排除」を目的として、受注者は、下請負者を用いる場合には、金額・工種の如何にかかわらず、末端の下請負者まで反映させた、「下請施工体系図」を作成し、遺漏・誤謬が無いよう記載内容を十分確認の上、遅滞なく監督員へ提出するものとする。  
また、提出した「下請施工体系図」の内容に変更が生じた場合は、その都度変更するものとし、遅滞なく監督員へ提出するものとする。なお、提出は打合せ簿によるものとする。ただし、メールによる提出も可能なものとし、この場合は、後日、打合せ簿を提出するものとする。

## 余裕期間制度の適用に関する特記仕様

- 主任技術者等の専任期間  
① 契約締切日の翌日から工事の始期までの期間については、主任技術者又は監理技術者及び現場代理人の設置を要しない。  
② 工事の始期から現場施工に着手するまでの期間については、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任を要しない。なお、現場施工に関する日については、請負契約の締結後、監督員との打合せにおいて定める。  
③ 工事完成後、検査が終了し(発注者の都合により検査が遅延した場合を除く。)、事務手続、後片付け等のみが残っている期間については、主任技術者又は、監理技術者の工事現場への専任を要しない。  
なお、検査が終了した日は、発注者が工事の完成を確認したうえ、受注者に通知した日(例:「完成検査結果通知書」等における日付)とする。
- 工期  
① 本工事は、受注者の円滑な工事施工体制の確保を図るため、事前に建設資材、労働者確保等の準備を行うことができる余裕期間(フレックス方式)を設定した工事であり、発注者が示した余裕期間の終期とすることができる限度の日の翌日までの間で、受注者は工事の始期を任意に設定できる。  
なお、余裕期間を設定する場合は、契約日に工事の始期を発注者に工事開始日設定通知書により通知しなければならない。  
なお、余裕期間設定後に余裕期間の変更が必要となった場合については監督員と協議すること。  
② 工事の始期までの余裕期間内は、現場代理人の常駐義務や主任技術者又は監理技術者を設置することを要しない。また、現場に搬入しない資材等の準備を行うことができるが、現場への資材の搬入や仮設物の設置等、工事の着手を行ってはならない。なお、余裕期間内に行う準備は受注者の責により行うものとする。  
  
工期: 令和8年8月12日から令和9年2月26日まで  
工事開始日: 令和8年8月12日から令和8年10月9日の間で受注者が選択する日  
※契約時に工事開始日設定通知書の通知がない場合は、余裕期間を設定できない。  
※余裕期間選定後の余裕期間の変更については、選定した工事開始日の7日前までであれば、変更理由が記載された工事打合せ簿により変更協議可能とする。  
なお、低入札価格調査等により、必要とした日数を余裕期間から控除する。また、調査等により工事の始期予定日以降に契約締結となった場合には、余裕期間は適用しない。
- 工事カルテ(CORINS)への登録  
主任または、監理技術者の従事期間は、実工事期間をもって登録するものとする。  
(着手前に余裕期間を含まないことに留意するものとする。)

## 週休2日制適用工事に関する特記仕様

- 本工事は、週休2日適用工事として、月単位の週休2日より取り組むことを標準とし、さらに、質の向上を図る完全週休2日(土日)に取り組むこともできる。
- 週休2日の取り組みについては、施工計画書により提出すること。
- 取り扱いについては、令和8年5月15日から適用する「週休2日制適用工事実施要綱」による。

(R8.5月)

【令和8年度】 工事名：(R8下甲-3)配水管布設替工事(R8C-2)(余フ)

### 本 工 事 費 内 訳 書

費目	工種	種別	細別	単位	数量	単価	金額	摘要
本工事費								
	路線1 配水管布設工			式	1			
		資材費		式	1			第 1号明細書
		労務費		式	1			第 2号明細書
		土工費		式	1			第 3号明細書
	給水管布設工 道路接続 5件			式	1			
		資材費		式	1			第 4号明細書
		労務費		式	1			第 5号明細書
直接工事費 計								

【令和8年度】 工事名：(R8下甲-3)配水管布設替工事(R8C-2)(余フ)

## 本 工 事 費 内 訳 書

費 目	工 種	種 別	細 別	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
共通仮設費								
	共通仮設費 (率)			式	1			
共通仮設費 計								
純工事費								
	現場管理費			式	1			
工事原価								
	一般管理費			式	1			
工事価格								
	消費税相当額			式	1			

【令和8年度】 工事名：(R8下甲-3)配水管布設替工事(R8C-2)(余フ)

### 本 工 事 費 内 訳 書

費 目	工 種	種 別	細 別	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
工事費計								

【令和8年度】 工事名：(R8下甲-3)配水管布設替工事(R8C-2)(余フ)

出典元 第 1号明細書 路線1 配水管布設工 資材費		明 細 書				1 式 当り
金額	内 容					1 式 当り
名 称・形状寸法	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	
止水栓(甲 型) φ25	個	2			S70265000025	
止水栓(ボール式・キーハンドル型) φ25	個	1			S70268000025	
DIP K形 管栓帽 φ100 (接合部品込)	組	1			S12241000100	
HPPE 直管 片受 φ100×5,000	本	16			S15111000100	
HPPE 直管 プレーンエンド φ100×5,000	本	3			S15112000100	
メカカルチーフ S型 分解不要 φ100*75 内外面粉体、離脱防止内蔵型	個	1			S71260100075	
HPPE ベンド EF片受 φ100×45°	個	1			S15312045100	
HPPE ベンド EF両受 φ100×45°	個	1			S15311045100	
HPPE メカニカル管栓帽(プラグ50A付) φ100 (接合部品込)	組	1			S15404000100	

【令和8年度】 工事名：(R8下甲-3)配水管布設替工事(R8C-2)(余フ)

出典元 第 1号明細書 路線1 配水管布設工 資材費		明 細 書				1 式 当り
金額	内 容					1 式 当り
名 称 ・ 形 状 寸 法	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	
シモク (VP・鋼管用) φ25	個	2			S71308000025	
HPPE メカニカルジョイント PP (HPPE×HPPE) φ100 (接合部品込)	組	4			S15504000100	
メカニカルジョイント PV (HPPE×VP) φ100	個	1			S71285000100	
幼型トレスナージョイント(ロク型) VS 分解不要 φ75 内外面粉体、離脱防止金具付	個	2			S71335000075	
HPPE ソフトシール仕切弁 (メカニカル両受口) φ100	基	2			S15903000100	
DIP F形 フランジパッキン φ75 GF形1号 7.5K	枚	2			S16322000075	
SPブッシュ 内面樹脂コーティング φ50*25	個	2			S50283050025	
フレキシブル継手 上水70*上水外径 φ25*600	個	1			S60255025060	
RRVP直管 φ75*5.00M	本	2			S40111000075	

【令和8年度】 工事名：(R8下甲-3)配水管布設替工事(R8C-2)(余フ)

出典元					
第 1号明細書		路線1 配水管布設工 資材費		1 式 当り	
金額			内容		
金額			1 式 当り		
名 称・形状寸法	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
TSVP直管 φ75*5.00M	本	2			S40112000075
HIVPチース <sup>△</sup> φ75	個	1			S40211000075
HIVPエルボ <sup>△</sup> φ75	個	2			S40232000075
RRVPベント <sup>△</sup> φ75*45°	個	2			S40231045075
VP 管栓帽 φ75 (接合資材込)	組	1			S17304000075
VP 管栓帽 φ100 (接合資材込)	組	1			S17304000100
VP用離脱防止金具 固定筒型 φ75	個	4			S40281003075
リフト式浅層埋設用消火栓(補修弁付) φ75 内外面粉体 7.5kg	基	1			S70253000000
ポリエチレン管 (1種二層管) φ25	m	6.0			S21100000025

【令和8年度】 工事名：(R8下甲-3)配水管布設替工事(R8C-2)(余フ)

出典元 第 1号明細書 路線1 配水管布設工 資材費		明 細 書				1 式 当り
金額	内 容					1 式 当り
名 称・形状寸法	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	
PP エルボ φ25	個	10			S21250090025	
サドル分水栓 HPPE用 (メカ) φ100*25	個	1			S70285100025	
PP メーター継手 φ25	個	9			S21280000025	
明示テープ 3cm幅	個	8			S19120000001	
標識シート 150mm×50m/巻 2倍折り込み	m	101.6			S19130000000	
止水栓筐 (鉄蓋製) L=600	個	2			S72201001600	
フランジボルト (SUS304 焼付防止処理) M16*75	本	8			S73341M16075	
仕切弁筐鉄蓋 (φ250) φ50～φ250 ボルト、緩み止めナット、ペナント込み	組	2			S72225000050	
仕切弁用レジンコンクリート上柵 H150 (φ250) φ50～φ200 A1	個	2			S72231H150A1	

【令和8年度】 工事名：(R8下甲-3)配水管布設替工事(R8C-2)(余フ)

出典元					
第 1号明細書		路線1 配水管布設工 資材費		1 式 当り	
金額			内容		
金額			1 式 当り		
名 称・形状寸法	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
仕切弁用 <sup>レ</sup> コンクリート中柵 H200 (φ250) φ50～φ250 B3	個	2			S72232H200B3
仕切弁用 <sup>レ</sup> コンクリート底板 H60 (φ250) φ50～φ100 S1	個	2			S72234H600S1
消火栓筐鉄蓋 (φ500) 緊結ボルト付 φ75*1 1/2	個	1			S72261001000
消火栓用 <sup>レ</sup> コンクリート上柵 H200 (φ500)	個	1			S72265001000
消火栓用 <sup>レ</sup> コンクリート下柵 H200 (φ500)	個	1			S72265006000
消火栓用 <sup>レ</sup> コンクリート底板 H40 (φ500)	個	1			S72266001000
固定用コ <sup>レ</sup> ムハン <sup>ド</sup> φ100	個	2			S19140000100
防蝕チューブ <sup>レ</sup> φ25 L=0.18m	個	13			S73261003025
粘着テープ t = 0.2mm 20m/巻 5cm幅	個	1			S73261002000

【令和8年度】 工事名：(R8下甲-3)配水管布設替工事(R8C-2)(余フ)

出典元 第 1号明細書 路線1 配水管布設工 資材費		明 細 書				1 式 当り
金 額		内 容				1 式 当り
名 称 ・ 形 状 寸 法		単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
DIP F形 フランジ短管 φ75×150 形式2 7.5K		個	1			S16272150075
ホ°リフレッシュスリーブ φ100(L=5.0m/枚)		枚	1			S19100000100
フランジGF加工 φ75 7.5K		箇所	1			0003
PVジョイント片落管 HPPE φ100*RRVP φ75		個	1			P0007
合 計						

【令和8年度】 工事名：(R8下甲-3)配水管布設替工事(R8C-2)(余フ)

出典元						
第 2号明細書		路線1 配水管布設工 労務費		1 式 当り		
金額		内容				
金額		1 式 当り				
名 称 ・ 形 状 寸 法		単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
ポリエチレン管・ステンレス鋼管 据付工 φ25		m	6.0			第W12060100025号代価表
硬質塩化ビニル管 据付工 φ75		m	5.5			第W12050100075号代価表
ポリエチレン管（融着接合）布設工 φ100		m	88.0			第W12060200100号代価表
鋼管 ねじ込み接合（1口） φ25		口	2			第W12040131025号代価表
給水管継手工（ALP・PP・SSP・LAソケット・SKX） φ25		口	29			第W12060110025号代価表
メカニカル継手（普通押輪・メカ継手） φ75以下		口	8			第W12030300075号代価表
フランジ継手（7.5K） φ75（80）		口	2			第W12030507075号代価表
硬質塩化ビニル管 TS継手工 φ75		口	7			第W12050110075号代価表
硬質塩化ビニル管 RR継手工 φ75		口	4			第W12050120075号代価表

【令和8年度】 工事名：(R8下甲-3)配水管布設替工事(R8C-2)(余フ)

出典元 第 2号明細書 路線1 配水管布設工 労務費		明 細 書				1 式 当り
金額	内 容					1 式 当り
名 称・形状寸法	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	
硬質塩化ビニル管 RR離脱防止金具設置工 φ75 離脱防止金具設置分のみ	口	4			第W12050220075号代価表	
メカニカル継手 (普通押輪・メカ継手) φ100	口	5			第W12030300100号代価表	
特殊押輪継手 φ100	口	1			第W12030301100号代価表	
ポリエチレン管 (融着接合) 継手工 (1箇所・1口) φ100	口	19			第W12060211100号代価表	
ポリエチレン管 (メカニカル継手) 継手工 φ100	口	14			第W12060310100号代価表	
硬質塩化ビニル管切断 φ75	口	10			第W12080600075号代価表	
既設管撤去切断 硬質塩化ビニル管 φ75	口	1			第W12100260075号代価表	
鋳鉄管切断工 (エンジンカッター) φ100	口	1			第W12080220100号代価表	
硬質塩化ビニル管切断 φ100	口	2			第W12080600100号代価表	

【令和8年度】 工事名：(R8下甲-3)配水管布設替工事(R8C-2)(余フ)

出典元					
第 2号明細書		路線1 配水管布設工 労務費		1 式 当り	
金額			内容		
金額			1 式 当り		
名 称・形状寸法	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
ポリエチレン管切断 φ100	口	6			第W12080700100号代価表
既設管撤去切断 硬質塩化ビニル管 φ100	口	1			第W12100260100号代価表
鋳鉄製仕切弁設置(縦・横型) 機械力 φ100以下	基	2			第W12090101100号代価表
消火栓設置工 地下式 単口 機械施工	箇所	1			第W12090300111号代価表
積上げ式仕切弁筐設置工 鉄蓋 φ250	個	2			第W12090511100号代価表
積上げ式仕切弁筐設置工 鉄蓋 φ500	個	1			第W12090511300号代価表
積上げ式仕切弁筐設置工 柵・底板・調整リング(共通) φ250	個	6			第W12090515010号代価表
積上げ式仕切弁筐設置工 上柵(共通) φ500	個	1			第W12090515031号代価表
積上げ式仕切弁筐設置工 下柵H200・H300 φ500	個	1			第W12090515033号代価表

【令和8年度】 工事名：(R8下甲-3)配水管布設替工事(R8C-2)(余フ)

出典元					
第 2号明細書		路線1 配水管布設工 労務費		1 式 当り	
金額		内容			
金額		1 式 当り			
名 称・形状寸法	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
積上げ式仕切弁筐設置工 底板φ500	個	1			第W12090515035号代価表
硬質塩化ビニル管 管明示テープ工 φ75	m	3			第W12050400075号代価表
ポリエチレン管 管明示テープ工 φ100	m	88.0			第W12060400100号代価表
標識シート布設工	m	101.6			第W12031400000号代価表
止水栓取付け 止水栓のみ φ25	箇所	3			第W31040343025号代価表
分水栓建込み HPPE φ100×φ25	箇所	1			第W31040233025号代価表
止水栓取付け 筐のみ 止水栓筐	箇所	2			第W31040349025号代価表
メカニカル継手取外し(普通押輪・メカ継手) φ75以下	口	3			第W12100310075号代価表
メカニカル継手取外し(普通押輪・メカ継手) φ100	口	1			第W12100310100号代価表

【令和8年度】 工事名：(R8下甲-3)配水管布設替工事(R8C-2)(余フ)

出典元 第 2号明細書 路線1 配水管布設工 労務費		明 細 書				1 式 当り
金額	内 容					1 式 当り
名 称・形状寸法	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	
通水試験	m	88.00			第W15012000000号代価表	
ポンプ運転工(開削水替) 作業時排水 発動発電機 工事用水中ポンプ 1台	日	4.0			第W11050100001号代価表	
交通誘導警備員B	人				RA227	
軽量鋼矢板賃料 矢板長2.0m 幅250mm 4mm 供用日数 30日	m	4.0			P90030000020	
支保材賃料(1段) アルミ腹起し4m・ねじ式サポート720~1130mm 供用日数 30日	m	4.0			P91000001072	
断水宣伝工 宣伝ビラ作成・配布 10戸以下	回	3			第W11050300001号代価表	
コンクリート削孔 コンクリート穿孔機 64mm以上77mm未満	孔	3			w0009	
合 計						

【令和8年度】 工事名：(R8下甲-3)配水管布設替工事(R8C-2)(余フ)

出典元					
第 3号明細書		路線1 配水管布設工 土工費		1 式 当り	
金額			内容		
金額			1 式 当り		
名 称・形状寸法	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
舗装版切断 アスファルト舗装版 15cm以下	m	221			第D32111100000号代価表
舗装版取壊し積込 BH0.20m3 舗装厚10cm以下	m2	129			第W31010310020号代価表
管路掘削 BH0.20m3	m3	62			第W31010104020号代価表
床掘り 土砂 現場制約あり 人力	m3	2.2			第A16116100000号代価表
管路埋戻(機械埋戻) BH0.20m3 クッション用砂埋戻	m3	34			第W31010201020号代価表
管路埋戻(機械埋戻) BH0.20m3 RC-40埋戻+タンバ締固め	m3	22			第W31010202020号代価表
管路埋戻(機械埋戻) BH0.20m3 M-30埋戻+タンバ締固め	m3	7.4			第W31010203120号代価表
発生土運搬 BH0.20m3 DTr4t 土砂 0.5km以下 DID無	m3	64			第W31010640005号代価表
発生土運搬 BH0.35m3 DTr10t 土砂 18.5km以下 DID無	m3	66			第W31010660185号代価表

【令和8年度】 工事名：(R8下甲-3)配水管布設替工事(R8C-2)(余フ)

出典元					
第 3号明細書		路線1 配水管布設工 土工費		1 式 当り	
金額		内容			
金額		1 式 当り			
名 称・形状寸法	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
産廃処理運搬 BH0.20m3 DTr4t As塊・Co塊(無筋) 2.0km以下 DID無	m3	5.2			第W31010742020号代価表
舗装工(車道・路肩) 5cm1層 再生密粒度As プライム	m2	61			第W31010810001号代価表
舗装工(車道・路肩) 3cm1層 再生密粒度As プライム	m2	68			第W31010810003号代価表
土留工(軽量鋼矢板・機械施工) 矢板長 2.0m 1.5m<掘削深≤1.8m バックホウ引抜	m	2.5			第W11003201501号代価表
土留工(軽量鋼矢板・機械施工) 矢板長 2.5m 1.8m<掘削深≤2.0m バックホウ引抜	m	0.8			第W11003251501号代価表
舗装濁水運搬 7.5km以下 DID無	台	1			第W31020100005号代価表
建設廃棄物処理 As	m3	5.2			K3101T100015
建設汚泥処分費 舗装濁水(アスファルト舗装切断)	m3	0.26			K3104T100002
残土処分費 北部開発(株) 甲斐市牛久地内	m3	66			w0003

【令和8年度】 工事名：(R8下甲-3)配水管布設替工事(R8C-2)(余フ)

出典元 第 3号明細書 路線1 配水管布設工 土工費		明 細 書				1 式 当り
金 額		内 容				1 式 当り
名 称・形状寸法		単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
積込(ルーズ) 土砂		m3	66			w0005
不陸整正 補足材料あり 28mm以上34mm未満		m2	4.8			w0013
合 計						

【令和8年度】 工事名：(R8下甲-3)配水管布設替工事(R8C-2)(余フ)

出典元		明 細 書				1 式 当り
第 4号明細書 給水管布設工 道路接続 5件 資材費						
金額	内 容					1 式 当り
名 称・形状寸法	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	
フレキシブル継手 上水フクロ*上水外径 φ20*500	個	2			S60255020050	
フレキシブル継手 上水フクロ*上水外径 φ25*600	個	3			S60255025060	
ポリエチレン管 (1種二層管) φ20	m	5.0			S21100000020	
サドル分水栓 HPPE用 (メカ) φ100*20	個	2			S70285100020	
サドル分水栓 HPPE用 (メカ) φ100*25	個	3			S70285100025	
PP ソケット φ20	個	2			S21210020020	
PP メーター継手 φ20	個	2			S21280000020	
PP メーター継手 φ25	個	3			S21280000025	
防蝕チューブ φ20 L=0.15m	個	6			S73261003020	

【令和8年度】 工事名：(R8下甲-3)配水管布設替工事(R8C-2)(余フ)

出典元		明 細 書				1 式 当り
第 4号明細書	給水管布設工 道路接続 5件 資材費					
金額	内 容					1 式 当り
名 称・形状寸法	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	
防蝕チューブ φ25 L=0.18m	個	6			S73261003025	
合 計						

【令和8年度】 工事名：(R8下甲-3)配水管布設替工事(R8C-2)(余フ)

出典元		明 細 書				1 式 当り
第 5号明細書	給水管布設工 道路接続 5件 労務費					
金額	内 容					1 式 当り
名 称 ・ 形 状 寸 法	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	
ポリエチレン管・ステンレス鋼管 据付工 φ20	m	5.0			第W12060100020号代価表	
給水管継手工 (ALP・PP・SSP・LAソケット・SKX) φ20	口	6			第W12060110020号代価表	
給水管継手工 (ALP・PP・SSP・LAソケット・SKX) φ25	口	3			第W12060110025号代価表	
分水栓建込み HPPE φ100×φ20	箇所	2			第W31040233020号代価表	
分水栓建込み HPPE φ100×φ25	箇所	3			第W31040233025号代価表	
合 計						

# 土工事計算書

(R8下甲-3)配水管布設替工事(R8C-2)(余フ)

路線1 配水管布設工

区間 10001 断面A RRVP φ 75 DP=1.20

NO	部材名称/規格・寸法	昼夜	数量	単位	計算式
1	硬質塩化ビニル管 据付工 φ 75	昼	2.500	m	VP布設工=L=2.5
2	硬質塩化ビニル管 管明示テープ工 φ 75	昼	2.500	m	管明示工=L=2.5
3	標識シート布設工	昼	2.500	m	管明示工=L=2.5
4	標識シート 150mm×50mm/巻 2倍折り込み	昼	2.500	m	管明示工=L=2.5
5	舗装版切断 アスファルト舗装版 15cm以下	昼	5.000	m	舗装切断工=舗装延長掘削部*本数+加算=2.5*2+0
6	建設汚泥処分費	昼	0.006	m3	舗装切断濁水処理=(舗装延長掘削部*本数+加算)*0.023* 舗装厚=(2.5*2+0)*0.023*0.05
7	舗装版取壊し積込 BH0.20m3 舗装厚10cm以下	昼	1.500	m2	舗装破碎工=延長*幅+面積加算=2.5*0.6+0
8	舗装版取壊し積込 BH0.20m3 舗装厚10cm以下	昼	1.500	m2	舗装破碎工=延長*幅+面積加算=2.5*0.6+0
9	管路掘削 BH0.20m3	昼	2.010	m3	掘削工H1=延長*幅*深=2.5*0.6*1.34
10	管路埋戻(機械埋戻)BH0.20m3 クッション用砂埋戻	昼	0.735	m3	埋戻工U1=延長*幅*深=2.5*0.6*0.49
11	管路埋戻(機械埋戻)BH0.20m3 RC-40埋戻+タンバ締固め	昼	1.125	m3	埋戻工U2=延長*幅*深=2.5*0.6*0.75
12	管路埋戻(機械埋戻)BH0.20m3 M-30埋戻+タンバ締固め	昼	0.180	m3	埋戻工U3=延長*幅*深=2.5*0.6*0.12
13	管路埋戻(機械埋戻)BH0.20m3 クッション用砂埋戻	昼	-0.015	m3	埋戻控除(新設管)=延長*管断面積=-1*2.5*0.006
14	建設廃棄物処理 As	昼	0.075	m3	廃材処分(掘削部)=破碎面積*厚さ=1.5*0.05
15	建設廃棄物処理 As	昼	0.045	m3	廃材処分(仮復旧)=破碎面積*厚さ=1.5*0.03
16	産廃処理運搬 BH0.20m3 DTr4t As塊・Co塊(無筋)2.0km以下 DID無	昼	0.075	m3	廃材運搬(掘削部)=破碎面積*厚さ=1.5*0.05
17	産廃処理運搬 BH0.20m3 DTr4t As塊・Co塊(無筋)2.0km以下 DID無	昼	0.045	m3	廃材運搬(仮復旧)=破碎面積*厚さ=1.5*0.03
18	発生土運搬 BH0.20m3 DTr4t 土砂 0.5km以下 DID無	昼	2.010	m3	残土運搬=H1分+H2分+継手掘分(底辺+側面)-撤去管=2.01 +0+0+0
19	舗装工(車道・路肩)3cm1層 再生密粒度As プライム	昼	1.500	m2	仮復旧=延長*幅+面積加算=2.5*0.6+0
20	舗装工(車道・路肩)5cm1層 再生密粒度As プライム	昼	1.500	m2	本復旧=延長*幅+面積加算=2.5*0.6+0

# 土工事計算書

(R8下甲-3)配水管布設替工事(R8C-2)(余フ)

路線1 配水管布設工

区間 10002 断面B HPPE φ 100 DP=0.70

NO	部材名称/規格・寸法	昼夜	数量	単位	計算式
1	ポリエチレン管(融着接合)布設工 φ 100	昼	88.000	m	PE布設工=L=88
2	ポリエチレン管 管明示テープ工 φ 100	昼	88.000	m	管明示工=L=88
3	標識シート布設工	昼	88.000	m	管明示工=L=88
4	標識シート 150mm×50mm/巻 2倍折り込み	昼	88.000	m	管明示工=L=88
5	通水試験	昼	88.000	m	通水試験=L=88
6	舗装版切断 アスファルト舗装版 15cm以下	昼	176.000	m	舗装切断工=舗装延長掘削部*本数+加算=88*2+0
7	建設汚泥処分費	昼	0.202	m3	舗装切断濁水処理=(舗装延長掘削部*本数+加算)*0.023* 舗装厚=(88*2+0)*0.023*0.05
8	舗装版取壊し積込 BH0.20m3 舗装厚10cm以下	昼	52.800	m2	舗装破碎工=延長*幅+面積加算=88*0.6+0
9	舗装版取壊し積込 BH0.20m3 舗装厚10cm以下	昼	52.800	m2	舗装破碎工=延長*幅+面積加算=88*0.6+0
10	管路掘削 BH0.20m3	昼	45.936	m3	掘削工H1=延長*幅*深=88*0.6*0.87
11	管路埋戻(機械埋戻)BH0.20m3 クッション用砂埋戻	昼	27.456	m3	埋戻工U1=延長*幅*深=88*0.6*0.52
12	管路埋戻(機械埋戻)BH0.20m3 RC-40埋戻+タンバ締固め	昼	13.200	m3	埋戻工U2=延長*幅*深=88*0.6*0.25
13	管路埋戻(機械埋戻)BH0.20m3 M-30埋戻+タンバ締固め	昼	6.336	m3	埋戻工U3=延長*幅*深=88*0.6*0.12
14	管路埋戻(機械埋戻)BH0.20m3 クッション用砂埋戻	昼	-1.056	m3	埋戻控除(新設管)=延長*管断面積=-1*88*0.012
15	建設廃棄物処理 As	昼	2.640	m3	廃材処分(掘削部)=破碎面積*厚さ=52.8*0.05
16	建設廃棄物処理 As	昼	1.584	m3	廃材処分(仮復旧)=破碎面積*厚さ=52.8*0.03
17	産廃処理運搬 BH0.20m3 DTr4t As塊・Co塊(無筋)2.0km以下 DID無	昼	2.640	m3	廃材運搬(掘削部)=破碎面積*厚さ=52.8*0.05
18	産廃処理運搬 BH0.20m3 DTr4t As塊・Co塊(無筋)2.0km以下 DID無	昼	1.584	m3	廃材運搬(仮復旧)=破碎面積*厚さ=52.8*0.03
19	発生土運搬 BH0.20m3 DTr4t 土砂 0.5km以下 DID無	昼	45.936	m3	残土運搬=H1分+H2分+継手掘分(底辺+側面)-撤去管=45.9 36+0+0+00
20	舗装工(車道・路肩)3cm1層 再生密粒度As プライム	昼	52.800	m2	仮復旧=延長*幅+面積加算=88*0.6+0
21	舗装工(車道・路肩)5cm1層 再生密粒度As プライム	昼	52.800	m2	本復旧=延長*幅+面積加算=88*0.6+0

# 土工事計算書

(R8下甲-3)配水管布設替工事(R8C-2)(余フ)

路線1 配水管布設工

区間 10003 北側水抜栓設置 PP φ 25

NO	部材名称/規格・寸法	昼夜	数量	単位	計算式
1	標識シート布設工	昼	1.500	m	管明示工=L=1.5
2	標識シート 150mm×50m/巻 2倍折り込み	昼	1.500	m	管明示工=L=1.5
3	舗装版切断 アスファルト舗装版 15cm以下	昼	3.000	m	舗装切断工=舗装延長掘削部*本数+加算=1.5*1+1.5
4	建設汚泥処分費	昼	0.003	m3	舗装切断濁水処理=(舗装延長掘削部*本数+加算)*0.023* 舗装厚=(1.5*1+1.5)*0.023*0.05
5	舗装版取壊し積込 BH0.20m3 舗装厚10cm以下	昼	1.500	m2	舗装破碎工=延長*幅+面積加算=1.5*1+0
6	床掘り 土砂 現場制約あり 人力	昼	0.945	m3	掘削工H1=延長*幅*深=1.5*1*0.63
7	管路掘削 BH0.20m3	昼	1.410	m3	掘削工H2=延長*幅*深=1.5*1*0.94
8	土留工(軽量鋼矢板・機械施工) 矢板長 1.5m<掘削深≤1.8m バックホウ引抜	昼	1.500	m	土留工=延長=1.5
9	管路埋戻(機械埋戻)BH0.20m3 クッション用砂埋戻	昼	1.080	m3	埋戻工U1=延長*幅*深=1.5*1*0.72
10	管路埋戻(機械埋戻)BH0.20m3 RC-40埋戻+タンパ締固め	昼	1.125	m3	埋戻工U2=延長*幅*深=1.5*1*0.75
11	管路埋戻(機械埋戻)BH0.20m3 M-30埋戻+タンパ締固め	昼	0.180	m3	埋戻工U3=延長*幅*深=1.5*1*0.12
12	管路埋戻(機械埋戻)BH0.20m3 クッション用砂埋戻	昼	-0.017	m3	埋戻控除(新設管)=延長*管断面積=-1*1.5*0.011
13	建設廃棄物処理 As	昼	0.075	m3	廢材処分(掘削部)=破碎面積*厚さ=1.5*0.05
14	産廢処理運搬 BH0.20m3 DTr4t As塊・Co塊(無筋)2.0km以下 DID無	昼	0.075	m3	廢材運搬(掘削部)=破碎面積*厚さ=1.5*0.05
15	發生土運搬 BH0.20m3 DTr4t 土砂 0.5km以下 DID無	昼	2.355	m3	残土運搬=H1分+H2分+継手掘分(底辺+側面)-撤去管=0.94 5+1.41+0+00
16	舗装工(車道・路肩)3cm1層 再生密粒度As プライム	昼	1.500	m2	仮復旧=延長*幅+面積加算=1.5*1+0

# 土工事計算書

(R8下甲-3)配水管布設替工事(R8C-2)(余フ)

路線1 配水管布設工

区間 10010 水圧用配管 BP TSVP φ 75 DP=1.20

NO	部材名称/規格・寸法	昼夜	数量	単位	計算式
1	硬質塩化ビニル管 据付工 φ 75	昼	3.000	m	VP布設工=L=3
2	舗装版切断 アスファルト舗装版 15cm以下	昼	6.000	m	舗装切断工=舗装延長掘削部*本数+加算=3*2+0
3	建設汚泥処分費	昼	0.004	m3	舗装切断濁水処理=(舗装延長掘削部*本数+加算)*0.023* 舗装厚=(3*2+0)*0.023*0.03
4	舗装版取壊し積込 BH0.20m3 舗装厚10cm以下	昼	4.500	m2	舗装破碎工=延長*幅+面積加算=3*1.5+0
5	管路掘削 BH0.20m3	昼	6.120	m3	掘削工H1=延長*幅*深=3*1.5*1.36
6	管路埋戻(機械埋戻)BH0.20m3 クッション用砂埋戻	昼	2.205	m3	埋戻工U1=延長*幅*深=3*1.5*0.49
7	管路埋戻(機械埋戻)BH0.20m3 RC-40埋戻+タンパ締固め	昼	3.375	m3	埋戻工U2=延長*幅*深=3*1.5*0.75
8	管路埋戻(機械埋戻)BH0.20m3 M-30埋戻+タンパ締固め	昼	0.540	m3	埋戻工U3=延長*幅*深=3*1.5*0.12
9	管路埋戻(機械埋戻)BH0.20m3 クッション用砂埋戻	昼	-0.018	m3	埋戻控除(新設管)=延長*管断面積=-1*3*0.006
10	建設廃棄物処理 As	昼	0.135	m3	廃材処分(掘削部)=破碎面積*厚さ=4.5*0.03
11	産廃処理運搬 BH0.20m3 DTr4t As塊・Co塊(無筋)2.0km以下 DID無	昼	0.135	m3	廃材運搬(掘削部)=破碎面積*厚さ=4.5*0.03
12	発生土運搬 BH0.20m3 DTr4t 土砂 0.5km以下 DID無	昼	6.120	m3	残土運搬=H1分+H2分+継手掘分(底辺+側面)-撤去管=6.12 +0+0+00
13	舗装工(車道・路肩)3cm1層 再生密粒度As ブライム	昼	4.500	m2	仮復旧=延長*幅+面積加算=3*1.5+0

# 土工事計算書

(R8下甲-3)配水管布設替工事(R8C-2)(余フ)

路線1 配水管布設工

区間 10011 管連絡 EP HPPE φ 100 DP=1.20

NO	部材名称/規格・寸法	昼夜	数量	単位	計算式
1	舗装版切断 アスファルト舗装版 15cm以下	昼	4.000	m	舗装切断工=舗装延長掘削部*本数+加算=1*2+2
2	建設汚泥処分費	昼	0.005	m3	舗装切断濁水処理=(舗装延長掘削部*本数+加算)*0.023* 舗装厚=(1*2+2)*0.023*0.05
3	舗装版取壊し積込 BH0.20m3 舗装厚10cm以下	昼	1.000	m2	舗装破碎工=延長*幅+面積加算=1*1+0
4	舗装版取壊し積込 BH0.20m3 舗装厚10cm以下	昼	1.000	m2	舗装破碎工=延長*幅+面積加算=1*1+0
5	床掘り 土砂 現場制約あり 人力	昼	0.630	m3	掘削工H1=延長*幅*深=1*1*0.63
6	管路掘削 BH0.20m3	昼	0.940	m3	掘削工H2=延長*幅*深=1*1*0.94
7	土留工(軽量鋼矢板・機械施工) 矢板長 1.5m<掘削深≤1.8m ハックホウ引抜	昼	1.000	m	土留工=延長=1
8	管路埋戻(機械埋戻)BH0.20m3 クッション用砂埋戻	昼	0.720	m3	埋戻工U1=延長*幅*深=1*1*0.72
9	管路埋戻(機械埋戻)BH0.20m3 RC-40埋戻+タンパ締固め	昼	0.750	m3	埋戻工U2=延長*幅*深=1*1*0.75
10	管路埋戻(機械埋戻)BH0.20m3 M-30埋戻+タンパ締固め	昼	0.120	m3	埋戻工U3=延長*幅*深=1*1*0.12
11	管路埋戻(機械埋戻)BH0.20m3 クッション用砂埋戻	昼	-0.012	m3	埋戻控除(新設管)=延長*管断面積=-1*1*0.012
12	建設廃棄物処理 As	昼	0.050	m3	廃材処分(掘削部)=破碎面積*厚さ=1*0.05
13	建設廃棄物処理 As	昼	0.030	m3	廃材処分(仮復旧)=破碎面積*厚さ=1*0.03
14	産廃処理運搬 BH0.20m3 DTr4t As塊・Co塊(無筋)2.0km以下 DID無	昼	0.050	m3	廃材運搬(掘削部)=破碎面積*厚さ=1*0.05
15	産廃処理運搬 BH0.20m3 DTr4t As塊・Co塊(無筋)2.0km以下 DID無	昼	0.030	m3	廃材運搬(仮復旧)=破碎面積*厚さ=1*0.03
16	発生土運搬 BH0.20m3 DTr4t 土砂 0.5km以下 DID無	昼	1.570	m3	残土運搬=H1分+H2分+継手掘分(底辺+側面)-撤去管=0.63 +0.94+0+00
17	舗装工(車道・路肩)3cm1層 再生密粒度As プライム	昼	1.000	m2	仮復旧=延長*幅+面積加算=1*1+0
18	舗装工(車道・路肩)5cm1層 再生密粒度As プライム	昼	1.000	m2	本復旧=延長*幅+面積加算=1*1+0

# 土工事計算書

(R8下甲-3)配水管布設替工事(R8C-2)(余フ)

路線1 配水管布設工

区間 10012 管連絡 BP RRVP φ 75 DP=1.20

NO	部材名称/規格・寸法	昼夜	数量	単位	計算式
1	舗装版切断 アスファルト舗装版 15cm以下	昼	3.000	m	舗装切断工=舗装延長掘削部*本数+加算=0.75*0+3
2	建設汚泥処分費	昼	0.003	m3	舗装切断濁水処理=(舗装延長掘削部*本数+加算)*0.023* 舗装厚=(0.75*0+3)*0.023*0.05
3	舗装版取壊し積込 BH0.20m3 舗装厚10cm以下	昼	0.675	m2	舗装破碎工=延長*幅+面積加算=0.75*0.9+0
4	舗装版取壊し積込 BH0.20m3 舗装厚10cm以下	昼	0.675	m2	舗装破碎工=延長*幅+面積加算=0.75*0.9+0
5	床掘り 土砂 現場制約あり 人力	昼	0.621	m3	掘削工H1=延長*幅*深=0.75*0.9*0.92
6	管路掘削 BH0.20m3	昼	0.621	m3	掘削工H2=延長*幅*深=0.75*0.9*0.92
7	土留工(軽量鋼矢板・機械施工) 矢板長 1.8m<掘削深≤2.0m ハックホウ引抜	昼	0.750	m	土留工=延長=0.75
8	管路埋戻(機械埋戻)BH0.20m3 クッション用砂埋戻	昼	0.466	m3	埋戻工U1=延長*幅*深=0.75*0.9*0.69
9	管路埋戻(機械埋戻)BH0.20m3 RC-40埋戻+タンパ締固め	昼	0.506	m3	埋戻工U2=延長*幅*深=0.75*0.9*0.75
10	管路埋戻(機械埋戻)BH0.20m3 M-30埋戻+タンパ締固め	昼	0.081	m3	埋戻工U3=延長*幅*深=0.75*0.9*0.12
11	管路埋戻(機械埋戻)BH0.20m3 クッション用砂埋戻	昼	-0.005	m3	埋戻控除(新設管)=延長*管断面積=-1*0.75*0.006
12	建設廃棄物処理 As	昼	0.034	m3	廃材処分(掘削部)=破碎面積*厚さ=0.675*0.05
13	建設廃棄物処理 As	昼	0.020	m3	廃材処分(仮復旧)=破碎面積*厚さ=0.675*0.03
14	産廃処理運搬 BH0.20m3 DTr4t As塊・Co塊(無筋)2.0km以下 DID無	昼	0.034	m3	廃材運搬(掘削部)=破碎面積*厚さ=0.675*0.05
15	産廃処理運搬 BH0.20m3 DTr4t As塊・Co塊(無筋)2.0km以下 DID無	昼	0.020	m3	廃材運搬(仮復旧)=破碎面積*厚さ=0.675*0.03
16	発生土運搬 BH0.20m3 DTr4t 土砂 0.5km以下 DID無	昼	1.242	m3	残土運搬=H1分+H2分+継手掘分(底辺+側面)-撤去管=0.621+0.621+0+00
17	舗装工(車道・路肩)3cm1層 再生密粒度As プライム	昼	0.675	m2	仮復旧=延長*幅+面積加算=0.75*0.9+0
18	舗装工(車道・路肩)5cm1層 再生密粒度As プライム	昼	0.675	m2	本復旧=延長*幅+面積加算=0.75*0.9+0

# 土工事計算書

(R8下甲-3)配水管布設替工事(R8C-2)(余フ)

路線1 配水管布設工

区間 10020 水抜栓 PPφ25 1基

NO	部材名称/規格・寸法	昼夜	数量	単位	計算式
1	標識シート布設工	昼	1.000	m	管明示工=L=1
2	標識シート 150mm×50m/巻 2倍折り込み	昼	1.000	m	管明示工=L=1
3	舗装版切断 アスファルト舗装版 15cm以下	昼	2.000	m	舗装切断工=舗装延長掘削部*本数+加算=1*2+0
4	建設汚泥処分費	昼	0.002	m3	舗装切断濁水処理=(舗装延長掘削部*本数+加算)*0.023* 舗装厚=(1*2+0)*0.023*0.05
5	舗装版取壊し積込 BH0.20m3 舗装厚10cm以下	昼	0.600	m2	舗装破碎工=延長*幅+面積加算=1*0.6+0
6	管路掘削 BH0.20m3	昼	0.468	m3	掘削工H1=延長*幅*深=1*0.6*0.78
7	管路埋戻(機械埋戻)BH0.20m3 クッション用砂埋戻	昼	0.258	m3	埋戻工U1=延長*幅*深=1*0.6*0.43
8	管路埋戻(機械埋戻)BH0.20m3 RC-40埋戻+タンバ締固め	昼	0.222	m3	埋戻工U2=延長*幅*深=1*0.6*0.37
9	管路埋戻(機械埋戻)BH0.20m3 クッション用砂埋戻	昼	-0.001	m3	埋戻控除(新設管)=延長*管断面積=-1*1*0.001
10	建設廃棄物処理 As	昼	0.030	m3	廃材処分(掘削部)=破碎面積*厚さ=0.6*0.05
11	産廃処理運搬 BH0.20m3 DTr4t As塊・Co塊(無筋)2.0km以下 DID無	昼	0.030	m3	廃材運搬(掘削部)=破碎面積*厚さ=0.6*0.05
12	発生土運搬 BH0.20m3 DTr4t 土砂 0.5km以下 DID無	昼	0.468	m3	残土運搬=H1分+H2分+継手掘分(底辺+側面)-撤去管=0.46 8+0+0+00
13	舗装工(車道・路肩)3cm1層 再生密粒度As ブライム	昼	0.600	m2	仮復旧=延長*幅+面積加算=1*0.6+0

# 土工事計算書

(R8下甲-3)配水管布設替工事(R8C-2)(余フ)

路線1 配水管布設工

区間 10021 給水管布設工PPφ20/25 道路接続 5件

NO	部材名称/規格・寸法	昼夜	数量	単位	計算式
1	標識シート布設工	昼	8.600	m	管明示工=L=8.6
2	標識シート 150mm×50m/巻 2倍折り込み	昼	8.600	m	管明示工=L=8.6
3	舗装版切断 アスファルト舗装版 15cm以下	昼	17.200	m	舗装切断工=舗装延長掘削部*本数+加算=8.6*2+0
4	建設汚泥処分費	昼	0.020	m3	舗装切断濁水処理=(舗装延長掘削部*本数+加算)*0.023* 舗装厚=(8.6*2+0)*0.023*0.05
5	舗装版取壊し積込 BH0.20m3 舗装厚10cm以下	昼	5.160	m2	舗装破碎工=延長*幅+面積加算=8.6*0.6+0
6	管路掘削 BH0.20m3	昼	4.025	m3	掘削工H1=延長*幅*深=8.6*0.6*0.78
7	管路埋戻(機械埋戻)BH0.20m3 クッション用砂埋戻	昼	2.219	m3	埋戻工U1=延長*幅*深=8.6*0.6*0.43
8	管路埋戻(機械埋戻)BH0.20m3 RC-40埋戻+タンバ締固め	昼	1.909	m3	埋戻工U2=延長*幅*深=8.6*0.6*0.37
9	管路埋戻(機械埋戻)BH0.20m3 クッション用砂埋戻	昼	-0.009	m3	埋戻控除(新設管)=延長*管断面積=-1*8.6*0.001
10	建設廃棄物処理 As	昼	0.258	m3	廃材処分(掘削部)=破碎面積*厚さ=5.16*0.05
11	産廃処理運搬 BH0.20m3 DTr4t As塊・Co塊(無筋)2.0km以下 DID無	昼	0.258	m3	廃材運搬(掘削部)=破碎面積*厚さ=5.16*0.05
12	発生土運搬 BH0.20m3 DTr4t 土砂 0.5km以下 DID無	昼	4.025	m3	残土運搬=H1分+H2分+継手掘分(底辺+側面)-撤去管=4.02 5+0+0+00
13	舗装工(車道・路肩)3cm1層 再生密粒度As プライム	昼	5.160	m2	仮復旧=延長*幅+面積加算=8.6*0.6+0